

ささしまライブまちづくり協議会

報告書

目次

- ①人材発掘・育成事業
 - 活動内容
 - Zippar試乗会
 - 横浜視察
 - 水陸両用バス「マリンライダー」乗車
 - 勉強会【Zippar報告】
- ②地域共創シンポジウムにおける成果報告
- ③人材育成のためのカリキュラム作成

人材発掘・育成事業

活動内容

共創モデル実証プロジェクト 報告書

2024年2月9日

一般社団法人ささしまライブまちづくり協議会

・勉強会

開催日	場所	参加メンバー	内容
【第1回】 2023年12月13日(水)	愛知大学 20階 会議室	9名	・顔合わせ ・今回の勉強会の概要説明 ・名古屋のまちづくりの歴史について (講師 アルカダッシュ 藤澤氏) ・ささしまライブまちづくり協議会の歴史と問題点 ・Zippar視察報告(中京エレクトロン 中野氏)
【第2回】 2023年12月26日(火)	愛知大学 20階 会議室	10名	・前回の振り返り ・ささしまライブまちづくり協議会の方向性 ・シンポジウムに向けて
【第3回】 2024年1月10日(水)	愛知大学 20階 会議室	14名	・ささしまライブまちづくり協議会の課題解決の方法 ・シンポジウム打合せ ・横浜視察会の打ち合わせ
【第4回】 2024年1月24日(水)	愛知大学 20階 会議室	10名	・横浜視察、水陸両用バス視察報告 ・シンポジウム報告内容など最終確認
【第5回】 2024年2月14日(水)	愛知大学 20階 会議室	8名	・シンポジウム結果報告(予定)
【第6回】 2024年2月21日(水)	愛知大学 20階 会議室	10名	・勉強会総括(予定)

・視察会

開催日	場所	参加メンバー	内容
2023年12月2日(土)	森野市	【中京エレクトロン】 鈴木、中野	Zippar試乗会で乗車体験
2024年1月13日(土)	横浜市西区 みなとみらい地区	【愛知大学】堀、山田【中京テレビ】池岡、浅井【中京エレクトロン】鈴木、中野【名古屋市】中田	ロープウェイ(YOKOHAMA AIR CABIN)体験乗車 みなとみらい地区の視察
2024年1月20日(土)	名古屋市港区	【中京テレビ】浅井【中京エレクトロン】鈴木、中野	水陸両用バス(マリンライダー)体験乗車

・シンポジウム

開催日	場所	登壇者	内容
2024年1月27日(土)	中京テレビ プラザC	【愛知大学】鈴木 【中京エレクトロン】中野	ささしまライブの課題と新交通システムについての報告

Zippar試乗会(2023年12月2日)

ささしまライブの新しい交通システムの1つのアイデアとして、まだ実用化はされていませんが、神奈川県秦野市にある「Zippar」実験線に試乗してきました。

Zipparは「低コスト・自由設計・自動運転」を特徴として、従来モノレールの半分の輸送量が確保できるシステムを、1/5のコストと期間で建設可能な新たな交通システムです。

通常のロープウェイは建設期間が短く、コストが低い交通手段ですが、道路上でのカーブが設置できないため、都市部での導入が困難とされています。「Zippar」は車体本体にバッテリー及びモータを搭載しているため、自走式で直線部はロープ、カーブ部分はレールを連続的に走行することを可能としています。

キャビンは下から大きく囲いこむXフレームが、まるで包み込まれているようで、大きな安心感、安全性を感じさせるデザインでした。

試乗会で実際に乗車してきましたが、乗り心地も良くスムーズで快適でした。

現在、上野動物園を始め沖縄県豊見城市など多くの公共施設で導入に向け働きかけていて他にも様々な打診があるそうです。

実験線は福島県に移設される予定で、現在移設工事中です。

横浜視察(2024年1月13日)

新しい交通システムのために横浜もロープウェイとその近辺を視察に行ってきました。

・YOKOHAMA AIR CABIN

日本初、世界最先端の都市型循環式ロープウェイYOKOHAMA AIR CABINは、JR桜木町駅前と新港地区の運河パークとを結び、街を高所から楽しみながら移動できる観光振興施設として、新たな横浜・みなとみらいの魅力を創出していました。

さらに世界的な照明デザイナー石井幹子氏に駅舎やキャビンの演出照明計画の監修をお願いするなど、安全かつ快適に、そして楽しい施設づくりを行われていました。

全キャビン バリアフリー対応、空気の自然循環による換気システム、さらに最新式バッテリーによる冷房システムや各種安全監視システム、フルカラーLEDによる演出照明など様々な分野で最先端の機能を備えていました。

歩いて10分ほどの距離で片道1000円の運賃と少し高額かと思いましたが、開業して2年半ですでに400万人が乗車。新たな観光の目玉となっていました。

ロープウェイに乗車した後で、所有運営者である泉陽興業の〇〇さんと〇〇さんから建設のきっかけ、開発秘話、現在の状況などを伺いました。運河の上や道路の上を運行するので認可が大変だったともいますが、横浜市が率先して動いてくれたようです。

・みなとみらい地区

みなとみらいは、横浜港に面している再開発地域で、以前は造船工場などがあったそうです。

1989年の横浜博覧会 (YES'89) 以降に開発が本格化し、首都圏の新都心として重点的に整備され今や横浜を代表する街に生まれ変わりました。

みなとみらい地区は展望フロアやショッピング、グルメを満喫できる横浜ランドマークタワーや、おしゃれな横浜赤レンガ倉庫、カップヌードルミュージアム横浜、横浜アンパンマンこどもミュージア

ムなどの商業スポットや、港を間近で感じられる山下公園など様々な見どころが集まる大人気エリアです。

横浜のまちづくりに詳しい水辺荘の山崎さんの案内で、お手本となる「みなとみらい地区」の横浜赤レンガ倉庫、横浜ハンマーヘッドなどの他、足を延ばして横浜の代表的観光地 山下公園や中華街なども視察しました。

水陸両用バス「マリンライダー」乗車(2024年1月20日)

ささしまライブの観光の目玉にできないかと考え、名古屋市栄と名古屋港を結ぶ水陸両用バス「マリンライダー」に乗車(乗船)してきました。

「マリンライダー」は“バスに乗ったままの爽快なスプラッシュ体験”が売りで港クルーズ×都市観光という新しい名古屋の観光の形で2021年秋に新しく登場しました。

現在のルートは限られている上、運行本数も少なく、あくまで観光用としての運営ですが、名古屋駅とささしまライブはバスで走り、中川運河を船でというのは面白いかと思いました。

ただ、今回は名古屋港周遊をメインにしたコースで乗車券は1人3000円

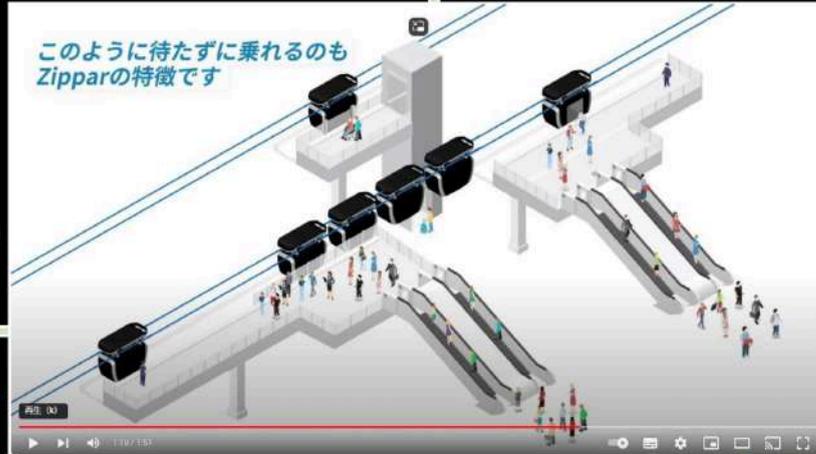
栄から市内を回って名古屋港を周遊するコースでは3800円と少し高めかと感じました。

勉強会【Zippar報告】



Zipparコンセプトムービー

このように待たずに乗れるのも
Zipparの特徴です



Ctrl+クリック



Zippar コンセプトムービー - YouTube

Zippar試乗会

■日にち
2023/12/2(土)

■当日タイムスケジュール
11:00 受付開始
11:30 会社説明
12:00 試乗会
13:00 解散

■場所 Zip Infrastructure本社
(神奈川県秦野市菅堤42-1)

2024年1月～福島県南相馬市へ移転予定



Ctrl+クリック

★会社HP★ Zip Infrastructure株式会社 - 都市型索道
(ロープウェイ) Zippar (zip-infra.co.jp)



会社概要

社名	Zip Infrastructure株式会社 (ジップ・インフラストラクチャー) 英語表記: Zip Infrastructure, Inc.
事業内容	運送機器の製造、販売 土木・建築工事業 自動車の陸送及び回送 貨物自動車運送事業 前各号に付帯関連する一切の事業
所在地	本社 神奈川県秦野市菅堤42-1
代表者	代表取締役: 須知高匡
設立日	2018年7月20日
資本金	18,548万円 (資本準備金を含む)

「渋滞のない、
どこでも駅徒歩5分圏内となる世界」を創れる

- 学生ベンチャーが開発した新交通システム
- 万博出展候補企業として「HeCNOS AWARD (ヘクス・アワード)」受賞企業に選ばれた

HeCNOS AWARD (ヘクス・アワード)とは、世界に先駆け未来社会の実現をめざす大阪・関西において、ヘルスクア分野とカーボンニュートラル分野で業界を牽引する製品やサービスの開発・社会実装をめざすスタートアップ企業・起業家を表彰するアワード

- 2022年NEWS PICS 「メイクマネーU-24 NOW 優勝」



Ctrl+クリック

★次世代交通システム「Zippar」にホリエモンが
試乗！交通から変える生活の未来 - YouTube

メンバー

Zip Infrastructure株式会社 管理部
塩松 京子 / Moeko Uematsu



須知 高匡
Takamasa Suchi
代表取締役
慶應義塾大学理工学部
機械工学科卒



吉田 真奈武
Manabu Yoshida
信号・土木部長
JR東日本出身



小野寺 亘
Wataru Onodera
営業
トイファクトリー出身



レボンキン マリオ
イアンカロスフェリド
Mario Ian Carlos
Ferido Rebonquin
海外営業・調達
三菱重工出身

Zippar の特徴①

01 低コスト

軽量搬器と軽量支柱の組み合わせ

既存のモノレールに比べ、約
1/5 のコスト(15億円/km)
・期間(1年)で建設可能です。



02 自由設計

これまで難しかったカーブを可能としました

既存のロープウェイと異なり、Zipparはロープとゴンドラが独立しているため、カーブや分岐を自由自在に設けることができ、柔軟な路線設計ができます。



Zippar の特徴②

03 自動運転

高頻度な交通インフラを実現する技術

自動運転のため、運転士不足に悩まされることもありません。時間帯や路線など、旅客需要に応じて車両数を増減させることができます。



04 快適・安心走行

2本のロープとレール上を滑らかに安心走行

2024年中には駆動部の安全性が認められる予定です。また、ロープ2本タイプを採用していて、通常のロープウェイの1.5倍の風速(30m/s)まで運行できます。



最高時速36km/h

違いは？

従来のロープウェイ

➢曲がるのが非常に難しく、直線のコースを運行するのが一般的

➢駅などの施設に設置してあるモーターによってロープを動かす仕組みで、ゴンドラは動くロープに乗っかっているだけ

Zippar

➢「曲がれる」ことが特徴の自走式ロープウェイ

➢車両にモーターやバッテリーを搭載していて、車両自体が動く仕組み

➢ロープと車両を独立させ、直線部はロープ上を、カーブや分岐の部分ではレール上を走行する方式を採用し、柔軟にコースを設計することができる

路線バスとLRTの間を埋める Zippar

Zipparは輸送量の面で路線バスとLRTの間を埋める存在です。路線バスは交通渋滞の影響を受けたり、LRTは私有地の取得が必要であったり、また道路を走行するため、定時性が低かったりといった問題を抱えています。しかし、Zipparは交通渋滞の影響を受けません。また、公道上の高架軌道で完結するため、私有地取得が不要で、バスよりも定時性が非常に高く、待ち時間も少ないというメリットがあります。

		バス(BRT)	Zippar	LRT(路面電車)	地下鉄
利便性	定時性	低い	高い	中程度	高い
	輸送能力	小	中	中	大
輸送力	定員	60~80人/台	8~12人/台	50~150人/両	800~1600人/編成
	最短運転間隔	90秒	12秒	90秒	150秒
経済性	建設費	0円	10~20億円/km	20~30億円/km	200~300億円/km
工事	期間	なし	1年	7年	10年
	用地確保	不要	不要	必要	必要

出典：静岡市「交通システムの比較」、京都市「新しい公共交通システムの概要と特性比較」、Zip Infrastructure調べ



大学
夕子化による登録者減少を補うアクセス手段の改善

こんなエリアに Zippar を

駅から大学、ショッピングモール、住宅地や団地、沿岸エリア、大規模工場等のエリアで、1時間に600~3000人程度の輸送需要があり、総延長は1~10km程度といった場所にマッチします。



ショッピングモール
休日に発生する渋滞の解消に、都市部では車以外アクセスも重要に



沿岸エリア
陸と海が近く、既存交通システムでは建設費が高価



大規模工場
工場の移転・新設に伴う通勤渋滞の解消に



住宅地・団地
狭い生活道路の渋滞解消が課題

Zipparに試乗！（動画）



全国から見た名古屋の観光に関する評価

<2021年名古屋市調べ>

名古屋の主要な観光資源については、認知度は「名古屋城」が最も高く、訪問意向・体験割合は「名古屋城」と「なごやめし」が高くなっている。

観光資源	認知度	体験	訪問意向
名古屋城	79.6	39.3	42.7
金シャヤ子橋丁	19.9	13.7	22.7
徳川美術館	21.1	13.3	20.5
熱田神宮	49.4	25.9	28.3
出羽道	4.9	9.5	4.2
リニア・鉄道館	19.5	8.9	16.6
トヨタ産業技術記念館	20.9	5.8	14.4
ノリタケの森	16.3	9.3	12.4
名古屋科学館・アプラナリウムなど	16.5	2.9	10.3
白鳥庭園	6.1	12.0	9.2
名古屋造（名古屋漆器、シートレイシ ランド「ポイント」など）	25.9	12.2	17.0
（単位：％） 栄（中津川）MUSEUM、TOWER、 久慈大湯公園（モリヤオアシドオリバ ）、「オアシス21」など） 東山動物園	40.8	20.1	23.3
大須（天須観音・天須徳兵衛）	19.3	15.9	12.2
文化のみち（二葉楼など）	2.6	1.9	4.6
右衛門・日本遺産（御蔵、右衛門、海鏡会 館など）	7.0	3.7	8.8
ゆかりの地（ゆかりの地）	23.2	2.7	13.8
ゆかりの地（ゆかりの地）	4.0	7.5	10.2
ゆかりの地（ゆかりの地）	35.1	31.9	15.3
ゆかりの地（ゆかりの地）	49.1	40.9	40.9
ゆかりの地（ゆかりの地）	8.9	3.9	6.7
ゆかりの地（ゆかりの地）	7.7	3.6	5.2
ゆかりの地（ゆかりの地）	5.9	2.1	4.9
ゆかりの地（ゆかりの地）	10.1	2.1	6.0
ゆかりの地（ゆかりの地）	0.1	1.4	0.9
ゆかりの地（ゆかりの地）	10.8	18.4	8.4

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、2022年1月にインターネットを用いてアンケートを実施した（1,113サンプル）

名古屋の観光地としての魅力度

<2021年名古屋市調べ>

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は53.9%と半数以上を占め、「魅力を感じない」は14.2%と1割半ばである。また「どちらともいえない」は約3割となっている。

（単位：％）

	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない
全体 N=1,113	53.9	14.2	31.9

名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

<2021年名古屋市調べ>

(単位：%)

	他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力ある食べ物・飲食店が少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと（観光施設の閉館時間が早いことなど）	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体 N=158	39.9	20.9	5.1	34.8	7.0	10.8	5.7	3.8	2.5	2.5	2.5	7.6	3.8

ささしまライブの現状

- 目的がないと行かない場所
- クルーズ名古屋の認知度が低い
- 名古屋駅で色々揃うのでグローバルゲートまで足を運ばない
- 名古屋駅から徒歩15分～20分と微妙な距離



人が来る仕掛けが必要

**ささしまを非日常の移動空間を味わえる
名古屋観光の“第2ターミナル”にしたい**

**未来を体感し移動も
観光の一つに！**



Zipparの窓をVRディスプレイにして
未体験の感動を提供する！

非日常の移動空間

渋滞しらずの
移動式エンター
テインメント

- ・若い世代の新しい遊び場
- ・子育て世代の憩いの場所
- ・デートスポット
- ・インバウンド客
- ・国内観光客



花火



海



桜



星



アニメ



アイドル Ready?



カラオケ



コンサート



会話

バーチャルビューマン



テレビ番組 & 配信

～特別なプライベート空間～
さまざまなユーザーの非日常をVRで演出する

Zipparは観覧車のように1人～グループ毎に利用できるコンセプトにする!!





私達で未来の可能性を最大化!!
〜ここでしか体験できない価値を創る〜

景色を楽しむだけでなく好きなVRコンテンツをユーザー自身で切替え可能に!!



乗り換えいらずで名古屋をぐるっと上空散歩(左回り)

<ロープウェイ乗車駅>

- 名古屋駅
- ささしまライブ駅
- クルーズ名古屋乗船上
- 大須観音駅
- 栄町駅
- 名古屋城駅
- 伏見駅

(1周 11km)

～不動産の価値向上～

新しく建設されるマンションや商業施設にも駅をつくり新たな交通網を確立してはどうか!?



定期便運賃【片道】※()内は小人運賃

大人(小人)	ささしまライブ	キャナルリゾート	みなとアクルス	ガーデンふ頭	ブルーボネット	金城ふ頭
ささしまライブ	¥500 (250)	¥500 (250)	¥600 (300)	¥900 (450)	¥1,200 (600)	¥1,500 (750)
キャナルリゾート	¥500 (250)	¥300 (150)	¥300 (150)	¥600 (300)	¥900 (450)	¥1,200 (600)
みなとアクルス	¥600 (300)	¥300 (150)	¥500 (250)	¥500 (250)	¥800 (400)	¥1,100 (550)
ガーデンふ頭	¥900 (450)	¥600 (300)	¥500 (250)	¥600 (300)	¥600 (300)	¥900 (450)
ブルーボネット	¥1,200 (600)	¥900 (450)	¥800 (400)	¥600 (300)	¥600 (300)	¥600 (300)
金城ふ頭	¥1,500 (750)	¥1,200 (600)	¥1,100 (550)	¥900 (450)	¥600 (300)	¥600 (300)

- 小人は小学生。未就学児は、大人1人につき1人無料。2人目からは小人運賃。
- 15人以上のご利用で1割引になります。※他割引との併用はできません。音楽では使用できません。
- 障害者及びその介護者の方は5割引になります。※他割引との併用はできません。



Zipparとクルーズ名古屋のセット料金プランやイベントを企画して名古屋観光を盛り上げる!!

名古屋観光はささしまから出発!とイメージ戦略を立てて地域活性化を図る!!

YOKOHAMA AIR CABIN < 2021年4月開業 >

- 9カ月で100万人達成 (22年2/15)
- 1年4カ月で200万人達成 (22年9/17)
- 2年で300万人達成 (23年5/18)

神奈川県的人口

→ 922万人

愛知県人口

→ 752万人

Zippar : 2年で243万人利用者数見込み



**Zipparとコンテンツ力で未体験の感動と価値を創り、
歴史と最先端技術で地域の未来を切り拓く!!**

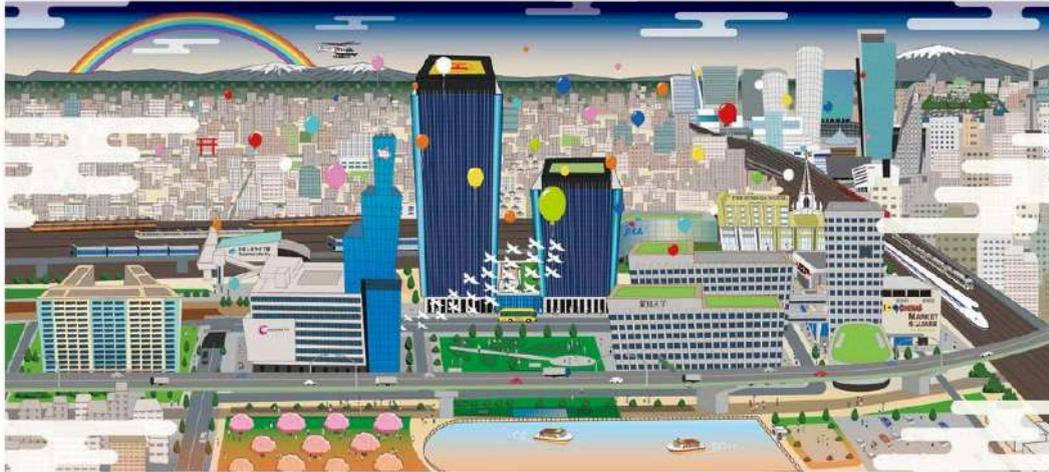
完

地域共創シンポジウムにおける成果報告

新しい交通まちづくりの提案

地域共創シンポジウム

ささしまライブ[®]
Sasashima Live



2024.1.27 一般社団法人ささしまライブまちづくり協議会

ささしまライブまちづくり協議会について

ささしまライブ[®]
Sasashima Live

- ▼2004年7月
ささしまライブ地区の土地所有者等により
設立したまちづくり組織です。
- ▼2017年10月7日
中核施設であるグローバルゲートの開業にあわせて
「まちびらき」しました。
- ▼2020年2月
「一般社団法人」となり活動の強化を図っています。

オフィス、放送局、大学、行政など多種多様な主体が
連携し、国際歓迎・交流の拠点をめざしています。



活動と課題

主な活動

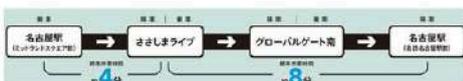
- ◎にぎわい創出のためのイベント開催、外部団体によるイベントへの支援
- ◎公式ホームページをはじめとする広報活動
- ◎地区内の清掃活動（毎週水曜日 9:30～）
- ◎アクセス改善のためのシャトルバス（ささしまウエルカムバス）の運行

現状の課題

- ◇認知度が低い、この地区やイベントへの来場者数が伸びない。
- ◇アクセスが悪い。
 - 当初計画の名駅までの地下歩道整備計画が大きく遅れている。
- ◇代替として運行しているシャトルバスの乗車人数が伸び悩んでいる。会員の費用負担が大きい。
- ◇地区全体を俯瞰した開発計画の欠如
 - 堀止地区とコンセプトが別々で一体感がない。



現在の名古屋駅⇄ささしまライブ 交通手段



来場者増加につながる、新しい交通手段の検討が必要



①アクセスの充実

+

②来場を促す観光の目玉を作る



2つの課題を一度に解決する方法はないか…？

名古屋駅と「ささしまライブ」を結ぶ
移動手段自体を観光の目玉にするよう
な新しい魅力的な交通システムが無い
か考えてみた。



名古屋の名物ってなんだっけ???

Zippar（電動自走式ロープウェイ）

Zippar の特徴



01 低コスト



Zippar モノレール

軽便機器と軽量支柱の組み合わせ
従来のモノレールに比べ、約1/3のコスト（約1/2の重量）を実現し、工期1割で実現可能です。

02 自由設計



これまで難しかったカーブを可能とした
従来のロープウェイと異なり、Zipparはロープとゴンドラが独立しているため、カーブの内側を
自由に曲がることで、柔軟な路線設計が可能です。

03 自動運転



高頻度な交通インフラを実現する技術
自動運転のため、運転手や乗客を必要としないため、乗客待ち時間短縮、運営効率向上、
運用コスト削減を実現することが可能です。

04 快適・安心走行



2本のロープとレール上を滑らかに安心走行
2本のロープには制動的な働きが認められています。また、ロープ&タイヤを採用して、過
渡期ロープウェイの3倍の速度(30km/h)まで走行できます。

Zip Infrastructure HPから

Zippar（電動自走式ロープウェイ）



SKYDRIVE (空飛ぶクルマ)



燃料にCO2排出ゼロで環境

低インフラコストで従来のエアポートに

従来・汎用機と構造異性を搭載

飛行先も入力するだけで、目的地に



SKYDRIVE HPから

自動運転技術 (小型バスの定期運行)

セントレア周辺で自動運転の実証実験 「一般客向けの定期運行」をテーマに小型バスを運行



愛知県は、自動運転の社会実装を見据えた実証実験をセントレア周辺で行うと発表しました。

自動運転の実証実験は2016年から行われていますが、今回は「一般客向けの定期運行」がテーマとなっており、バス型車両を運行して様々な気象環境下における課題を抽出するほか、車内乗務員が不在の状況で緊急事態が発生した際の対応方法などを検討するということです。

中京テレビNewsWeb HPから

マリナー (水陸両用観光バス)

ささしまライブ
Sasashima Live



鯨バスツアー HPから



赤レンガ倉庫とYOKOHAMA AIR CABIN

ささしまライブ
Sasashima Live



YOKOHAMA AIR CABIN (都市型ロープウェイ)



sasashimaライブが名古屋観光のハブとなる！



新しい交通まちづくりの提案

地域共創シンポジウム



2024.1.27 一般社団法人sasashimaライブまちづくり協議会

人材育成のためのカリキュラム作成

地域振興とイベントプロモーション

1. 地域開発とイベントプロモーション基礎
 - 地域振興の基本概念と成功事例の研究
 - イベントプランニングの基本スキルとイベント運営のノウハウ
2. 広報活動とマーケティング戦略
 - オンラインおよびオフライン広報活動の戦略
 - ターゲットオーディエンスの理解と訴求力の向上
3. 地域清掃と共同作業
 - 地域清掃の意義と具体的な清掃活動の計画・実行
4. 交通アクセスの改善とシャトルバス運営
 - 交通インフラの改善計画と実施
 - シャトルバスの効果的な運営戦略
5. 地域全体の俯瞰的開発計画
 - 地域全体の課題抽出と解決策の提案
 - コミュニティとの協力体制の構築
6. 一体感の向上とコミュニティビルディング
 - 地域コンセプトとの調和を図るためのプロジェクト計画
 - 地域住民との協力関係の構築

名古屋の玄関口としての新たな魅力の発信

1. 水辺の魅力とアクティビティの促進
水辺の広がりを生かし、リバーサイドイベントや水上アクティビティの開催を通じて、地域への認知度向上と観光客の呼び込みを図る。
2. 国際歓迎と交流プログラムの実施
地域の国際色豊かな雰囲気を活かし、国際的な催し物や交流プログラムを展開。外国人観光客や留学生を対象としたイベントや言語交換会を通じて、地域との交流を深める。
3. 新名所としての位置づけ
地域の美しい緑と水辺を活かし、新たな名所としての知名度を築く。地元住民と訪れる人々にとって、特別で思い出に残る場所となるようにする。
4. 地域との一体感の構築
地域住民と協力して、地域開発の方針を共有し、地域住民が自身の街に誇りを持つような地域に。地域全体での一体感を高め、コミュニティを強化。
5. 国際的な視点からの開発計画
国際的な都市としての側面を考慮し、多言語対応の案内システムや国際的な観光プロモーションの戦略を組み込む。地域の国際的な魅力を最大限に引き出す。